コスタリカ経済定期報告(2026年9月)

2026年10月

在コスタリカ日本大使館　経済班

※出典:コスタリカ中央銀行(BCCR)、財務省、貿易省(COMEX) 及び貿易振興機構(PROCOMER)。主な出来事については当地新聞記事[1]による。

■ 主要経済指標

	2025	2026			
	12	6	7	8	9
累積輸出総額 FOB(100 万ドル)	22 637,72	11,586.21	13,652.28	15,489.47	
累積輸入総額CIF(100 万ドル)	25 101,99	13,151.93	15 605,97	17,926.83	
貿易収支(100 万ドル)	−2 464,26	−1 565,72	−1953.69	−2,437.36	
財政収支対 GDP 比(%)	−3,41	−1,23	−1.61	N/D	
消費者物価指数(CPI:2015 年 6 月を 100 とする)	109,04	109.12	99.53	99.42	
為替(コロン・1 米ドルあたり買値・月末値)	495,78	451.89	448.31	446.47	454,26
為替(コロン・1 米ドルあたり売値・月末値)	501,42	457.17	454.44	452.93	458,43
政策金利(%)(年末・月末)	3,25	3.25	3.00	3.00	3.00
基本預金金利(%)(年末・月末)	3,78	3.66	3.64	3.62	3.58
外貨準備高(100 万ドル)(年末・月末)	17 081,66	20,733.55	20,816.41	20,447.91	N/D
失業率	6,3	7.00	6.7	N/D	
最低賃金	112,67	114.47	115.02	115.14	
貧困率(年次)	15,2	N/D			
ジニ係数(年次)	0,488	N/D			

■フェルナンデス大統領発言「ＣＰＴＰＰ加入承認していない」：報道

9 月 25 日付当地メディアは、農業生産組合の会合におけるラウラ・フェルナンデス大統領のＣＰＴＰＰ加入についての発言を報じているところ、概要以下のとおり。

１　コスタリカの環太平洋パートナーシップ協定（ＣＰＴＰＰ）加入について、大統領はプンタレナス州コレドーレス市で開催された Coopeagropal R.L.の創立 40 周年記念式典で、自分（大統領）は草案に目を通しておらず承認もしていない、加入前に詳細な分析が必要だ、と述べた。大統領はさらに、この協定は立法議会でも審議されていないと付け加えた。現行の法律では、コスタリカが交渉した貿易協定の条項について、国会議員による承認が義務付けられている。

２　主な発言は次のとおり。「私はその協定の草案に目を通してすらいない。私たちを分断しようとし、

[1] ラ・ナシオン紙、エル・ディアリオ・エクストラ紙、ラ・レプブリカ紙、エル・フィナンシエロ紙等

恐怖を煽り、私が決して口にしていない言葉を私に言わせようとする者たちがいる。そこで、国内のすべての生産者の皆様に申し上げる、この協定は私によって承認されたものではない」「農業関係者との様々な会合で私が述べてきたように、国として何らかの決定を下す前に、どのような利益があるか、どのセクターが（輸出先として）製品を供給できる点で改善が見込まれるかについて、綿密な分析を行う必要がある」。

３

（１）ＣＰＴＰＰ締結国である日本、オーストラリア、マレーシア、ニュージーランド、ブルネイ、ベトナム、カナダ、チリ、メキシコ、ペルー、英国、シンガポールの経済発展の規模の大きさから、産業界はこの協定を脅威と見なし拒否している。

（２）カトリック教会もこの協定を批判した。サンホセの大司教ホセ・ラファエル・キロス氏は、同協定が貿易の機会拡大や輸出の多様化に寄与しないとして、コスタリカの環太平洋パートナーシップ協定への不参加を提案した。

（３）ＣＰＴＰＰの交渉は、当時貿易大臣を務めていたマヌエル・トバル氏が主導した。同氏は、フェルナンデス大統領が昨年 5 月の就任当初に外務大臣に任命されたが、9 月 24 日にその職を解任された。

■新病院と空港拡張：ラウラ・フェルナンデス政権：報道

８月３１日付当地メディアは、社会保険庁（ＣＣＳＳ）によるトニー・ファシオ新病院への 2080 億コロン、大西洋沿岸港湾管理開発委員会（Japdeva）によるリモン市の国際空港拡張への 4000 万ドルの拠出をラウラ・フェルナンデス大統領が発表した旨報道しているところ、概要以下のとおり。

１　ラウラ・フェルナンデス大統領は、リモン市で開催された政府評議会の席上で、コスタリカの大西洋沿岸地域における２つのプロジェクトへの巨額の投資を発表した。

（１）病院インフラの改修に関しては、ＣＣＳＳのモニカ・テイラー理事長が、工事の入札公告はすでに公表されており、入札の締め切りは１２月の第１週であると報告した。「2027 年２月までには、新病院の設計、建設、設備、維持管理を含むプロジェクトの落札が決まる見込み」と、テイラー氏は政府評議会の会合で述べた。

（２）空港の資金調達に関しては、フェルナンデス氏が、ＡＰＭターミナル社が Japdeva に支払っているモイン・コンテナターミナル（ＴＣＭ）の開発使用料から拠出される資金であるとした。滑走路を 600 メートル延長するとともに、旅客ターミナルの建設、保安・防火施設の整備、アクセス道路、駐車場、および海岸防護工事などが実施される。

２　教育インフラへの投資

病院や空港のインフラに加え、政府は新規および既存の教育施設への投資も発表した。

2027 年５月には、バタンにあるサンタ・マルタ学校の建設工事が開始される予定で、185 人の生徒を対象に９億 1500 万コロンが投資される。

ブリブリ族の居住地にあるランチョ・グランデ学校では、175 万 5 千ドルを投じて、教室や市民広場を備えた新しい施設が完成した。